



しろぐみだより 1月号

2022,1,28 とうれいほいくえん

新年のあいさつを元気にしてくれ、お正月や休み中の楽しいお話を聞かせてくれました。雪の降る日が何日かあり、雪だるまを作ったり雪合戦を楽しむ姿も見られ寒さに負けず毎日元気にすごしていますよ。



新年の集いに参加しました

先日、誕生会後に新年の集いがあり雪山先生（前園長先生）にいろいろなお話を聞かせていただきました。お正月の話やののさまにお供えされているお花など詳しく教えてくださいました。お米がお供えされていて、朝からとても気になっている子たちは「あれは何？」と質問する姿もあり、それについて教えていただくと「そうなんだ」といった顔で興味津々に聞いていました。他にもコロナの話や一年生に向けての話など教真剣に聞いていましたよ。

その後、お正月の遊びの凧を作ってみんなで揚げました。どんな絵を描くかなど近くの友達と楽しそうに話しながら描く姿や、完成して揚げるのがうれしく「早く外行こ！」と言ってくれましたよ。外ではみんなで園庭を走り回ってキラキラした顔で凧が上がるのをみていました。

“おかしのに” に行ったよ！



昨年末から園全体の造形活動として「おかしのにへ宝探しをしよう」というテーマで、いろいろなことに取り組んできました。白組は赤組、黄組のお友達にプレゼントをするドーナツを作ったり、桃組さんが作る大きなケーキの土台作り、冷蔵庫、”おかしのに”の絵などいろいろな物を作りました。11日～各クラス順番に“おかしのに”に遊びに行きました。白組の子たちは案内役として、チケットにスタンプを押して連れて行く子と”おかしのに”で何をするか説明してくれる妖精役の子と分かれてお世話をしてくれました。チケット役の子は「いらっしゃいませー」「チケットどうぞ」と照れながらも優しく手を引き年下の子を連れて行ってあげたり、次に来るお友達がみえると「あ、もうくる！準備しよ」と自分の場所につき待つ姿がとてもかっこよかったです。妖精役の子は、緊張しながらも宝探しの説明をすると「ここらへんにあるよ」と、なかなか見つからない子に優しく教えてあげていました。案内役以外にも宝探しのお菓子を隠したり妖精になりきっている姿が可愛かったです。そして、14日の最終日は白組が遊びに行く日でした。どんなお菓子が隠してあるのか、誰が妖精なのか、とても楽しみにしている様子で、「どこにあるかな～？」と夢中になってお菓子を探したり、自分たちが作ったものが飾ってあるものを見つけると「これ！私が描いた！」と目を丸くして見ていましたよ。他クラスとの交流がなかなかもてなかつたので他クラスのお友達と関われ、優しく案内する姿が微笑ましかったです。



マフラー製作を始めました！

マフラー製作を始めました。お兄ちゃんやお姉ちゃんがいる子や去年、白組の子がするのを見ていてとても楽しみにしていた様子で「いつからするの??」と、どの子も心待ちにしていました。マフラー製作が始まると思っていたより難しかったようで、1～11番の順番に毛糸を編んでいくところが番号を抜かしてしまったり、毛糸の緩め具合の調整が上手くいかずカチカチになることがありました。「先生～できないよ」と諦めそうになりながらも、友達が頑張る姿やマフラーを完成させたい思いから集中しながら頑張っています。また、毛糸が編み機から外れて抜けてしまったり、逆向きに進めてしまうこともあります。一所懸命に取り組んでいます。完成する日がとても楽しみです！